

『つきよのうた』

はせがわ さとみ・作

● 登場人物 (20人)

こぐま 1 こぐま 2 こぐま 3

りす 1 りす 2 りす 3

きつね 1 きつね 2

うさぎ 1 うさぎ 2 うさぎ 3

ねずみ 1 ねずみ 2 ねずみ 3

やまね 1 やまね 2

ことり 1

たぬき 1 たぬき 2

ナレーション

『つきよのうた』

ナレーション おちばが たくさんつもった あきのもりです。
こぐまは いえのまえで、
はっばの てがみを つけました。

(こぐま てがみをひろって よみながら)

こぐま1 「ともだちの たぬきから おてがみだ」

こぐま2 「“すすきのはらで おつきみしよう。

おいしいもの たくさんよういして まってます”
だって」

こぐま1、2、3 「わあ、うれしい。おつきみだ！」

こぐま3 「ぼくらの なにか いいもの もっていこう」

こぐま1 「ぶどうが いいかな」

こぐま2 「りんごや きのみが いいかな」

こぐま1、2、3 「そうだ、うたがいいよ、たぬきと いっしょに うたう
おつきさまのうた！」

ナレーション こぐまたちは おつきさまを みあげながら
こんなうたを つくりました。

こぐま1、2、3 ♪おつきさま まるいの なんて なんて
おつきさま きんいろなの どうして どうして
おつきさま いなくちゃ よるは まっくら
あー おつきさまって おいしそう

こぐま1 「うん、なかなか いいうただ」

こぐま2、3 「たぬき、きっと よろこぶぞ」

(こぐまたち うたをうたいながら あるきだす)

ナレーション そのとき、びゅううーっつと
つよいかぜがふいてきて…

※ 風の効果音などを入れてもいいでしょう

(こぐま かぜにふかれて ころぶ)

こぐま1 「あいたた。あれ？ おかしいな」

こぐま2 「うたが ちっとも おもいだせないよ」

- こぐま3 「ぼくらのうた どこに いっちゃったんだろう」
- こぐま1、2、3 「なんで、どうして、えーっと……。」
- (こぐま くびをかしげて かんがえる)
- こぐま1 「ああ! きっと かぜが おちぼといっしょに
ぼくらのうた、とぼしちやったんだ!」
- こぐま2、3 「たいへん、いそいで おいかけよう」
- (こぐまたち はしって かぜを おいかけていく)
- ※ 風の効果音などを入れてもいいでしょう
- こぐま1 「おや、きが ゆれてるよ」
- こぐま2 「ぼくらのうた あそこに あるかもしれないぞ」
- (こぐまが きに かけよると、りすが かおをだす)
- りす1、2、3 「あれえ、こぐま、どうしたの？」
- こぐま3 「さっき かぜが ふいてこなかった？」
- こぐま1 「そのかぜ、なにか うたっていなかった？」
- りす1 「うーん、どうかなあ」
- りす2 「なにか きこえた きがするなあ」
- りす3 「そうだ、たしか こうだよ」
- (りす、どんぐりを かかえて うれしそうに)
- りす1、2、3 ♪どんぐり まるいの なんて なんて
- こぐま1 「うん! そうだ、そうだ!」
- こぐま2 「そんな はじまりだったきがする!」
- こぐま3 「このうた、たぬきと おつきみしながら うたうんだ!」
- りす1、2、3 「へえ、いいねえ。ぼくらも いっしょに いっていい?」
- こぐま1、2、3 「うん、いいとも。いっしょにいこう」
- (こぐま、りす、うたいながらあるきだす)

こぐま、りす ♪どんぐり まるいの なんて なんて
♪どんぐり まるいの なんて なんて

ナレーション そのとき むこうの しげみが
ゆれているのが 見えました。

※ 風の効果音などを入れてもいいでしょう

こぐま1 「あっ、あんなとこまで、かぜが ふいていったんだ」

こぐま2 「ぼくらのうた、あそこにも あるかもしれないよ」

(こぐまとりすが しげみにちかづくと、きつねが かお
をだす)

きつね1 「やあ、こぐま、どうしたの」

こぐま3 「さっき かぜが ふいてこなかった？」

こぐま1 「そのかぜ、なにか うたっていなかった？」

きつね2 「うん、なにか きいた きがするよ」

きつね1 「ええと……。」

きつね1、2 ♪きつね きんいろなの どうして どうして

きつね2 「だったかな？」

こぐま2 「うん！ そうだ、そうだ！ ありがとう」

こぐま3 「このうた、たぬきと りすと おつきみしながら
うたうんだ」

きつね1、2 「それなら ぼくらも いっしょに いこう」

(こぐま、りす、きつね うたいながら あるきだす)

こぐま、りす、 ♪どんぐり まるいの なんて なんて

きつね ♪きつね きんいろなの どうして どうして

りす1、2、3 「あ、いけがあるよ」

きつね1、2 「おちばが くるくる まわってる」

※ 風の効果音などを入れてもいいでしょう

こぐま1 「かぜのやつ あんなところまで ふいていったんだ」
こぐま2 「ぼくらのうた、かえしてよう」

(こぐま いけに とびこむ)

ナレーション じゃぼーん！

(ねずみと やまねと うさぎ、びっくりして
きの かげから かおをだす)

ねずみ1、2、3 「わあ、やめてよ」
やまね1、2 「ぼくたちの はっぱの ふねだよ」
うさぎ1、2 「こわさないでよう」

こぐま1、2、3 「あれえ、ごめんね。
ここに ぼくらのうた とんできたんじゃないかと
おもって」

ねずみ1、2、3 「うん、きこえたよ」
やまね1、2 「たしか…」
うさぎ1、2 「こうだ！」

ねずみ、やまね、
うさぎ ♪ふとんが なくちゃ
♪よるは そわそわ
♪ああー おつきさまって つめたそう

こぐま1 「わあ、たすかった！」
こぐま2 「ありがとう」
こぐま3 「このうた、たぬきと りすと きつねと、
おつきみしながら うたうんだ」

ねずみ1、2、3 「へえ、ちょうどいい」
やまね1、2 「ぼくら たのしいこと、さがしてたんだ」
うさぎ1 「いっしょに いこう」
うさぎ2 「いっしょに うたおう」

(みんなで ぎょうれつになって あるきだす)

こぐま、りす、
きつね、ねずみ、
やまね、うさぎ、

♪どんぐり まるいの なんて なんて
きつね きんいろなの どうして どうして
ふとんが なくちゃ よるは そわそわ
ああー おつきさまって つめたそう

(みんな あるいて ぶたいから いなくなる)
(場面が変わり
たぬきとことり、すすきのはらで すわっている)

ことり 1
たぬき 1、2

「こぐまたち、おそいねえ」
「きつとくるよ、もうすぐだよ」

(こぐまたち みんな、あるいて やってくる。
とおくから たぬきを みつけて よびかける)

こぐま 1、2、3
りす、きつね
ねずみ、やまね、
うさぎ

「おーい、たぬき」
「おーい、ことり」
「ぼくら うんと いうた もってきたよ！」

たぬき、ことり

「へえ、どんなうた、きかせてよ」

(たぬきと ことり以外、
みんなで こえをそろえて うたいます)

こぐま、りす、
きつね、ねずみ、
やまね、うさぎ

♪どんぐり まるいの なんて なんて
きつね きんいろなの どうして どうして
ふとんが なくちゃ よるは そわそわ
ああー おつきさまって つめたそう

たぬき 1、2
ことり 1

「うふふ、こぐま、それ おかしな うただねえ」
「おかしいねえ、おかしいねえ」

こぐま 1、2、3

「あれえ、ぼくら、おつきさまのうた
つくったはずなのに」

(たぬきとことり、みんなのそばに やってくる)

たぬき 1、2
ことり 1

「うたなら ぼくらも うたえるよ」
「よし、いっしょに うたおう」

たぬき、ことり ♪おつきさま まるいの なんて なんて
おつきさま きんいろなの どうして どうして
おつきさま いなくちゃ よるは まっくら
あー おつきさまって おいしそう

こぐま1 「あれっ！これだよ」
こぐま2 「ぼくらが つくったうた」
こぐま3 「どうして たぬき、しってるの？」

ことり1 「へえ。こぐまが つくったの？」
たぬき1 「おつきみが うんと たのしみで
ここで こぐまを まってたよ」
たぬき2 「こぐま、はやく こないかなあつて おもっていたら、
このうたが とんできた！」
ことり1 「かぜにのって、とんできた！」

※ 風の効果音などを入れてもいいでしょう

こぐま1、2、3 「わあ、ぼくらのうた、ちゃんと
たぬきのところに とどいてたのかあ」

りす、きつね、ねずみ、やまね、うさぎ 「よかったね。うれしいねえ」

みんな ♪おつきさま まるいの なんて なんて
おつきさま きんいろなの どうして どうして
おつきさま いなくちゃ よるは まっくら
あー おつきさまって おいしそう

ナレーション すすきのはらに かぜが そよそよと ふきました。
とっても、とってもいい、つきよでした。

おしまい